

平成22年度

要 覧

ここから 始まる 学びの輪



学習・体験・交流の広場

福岡県立社会教育総合センター

運営方針と重点目標

1 運営方針

福岡県立社会教育総合センターは、本県における生涯学習・社会教育推進の中心的な施設として、市町村や民間団体等の社会教育を振興する活動と県民一人一人の自主的・主体的な学習活動の支援に努めます。

2 重点目標

本年度は、改正教育基本法や社会教育法等の趣旨、教育力向上福岡県民会議からの提言内容等を踏まえ、「県民の学習活動支援」「子どもの育成支援」「社会教育関係者等の養成支援」を重点施策として、次のとおり重点目標を定め、各種事業を推進します。

(1) 県民の学習活動支援

- ①施設の利用促進、施設利用者のための学習活動支援の充実など学習の機会・場の拡充に努めます。
- ②社会教育や家庭教育などに関する調査、データーの収集・提供等の充実に努めます。
- ③ITを活用した学習情報の提供や電話等による学習相談の充実、視聴覚教材の利用促進に努めます。

(2) 子どもの育成支援

- ①幼児や障害児の自立及び父子交流促進など、課題別体験活動プログラムの研究開発と普及に努めます。
- ②子どもの体験活動を支援する青少年ボランティア(主として高校生・大学生)の養成に努めます。
- ③家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談活動の充実、家庭教育支援者の養成、交流の場の提供等に努めます。

(3) 社会教育関係者等の養成支援

- ①社会教育関係職員及び民間団体指導者の資質向上を図る研修の充実に努めます。
- ②学校等関係機関との連携を促進し、相談業務に携わる教職員や体験活動の指導者の育成に努めます。
- ③県内外の生涯学習・社会教育関係実践事例の収集・提供に努めるとともに、関係者の交流促進に努めます。

目次

運営方針と重点目標・・・1

沿革・・・・・・・・・・・・・2

施設概要

1. 建築概要・・・・・・・・・・3

2. 施設設備・・・・・・・・・・3

3. 利用案内・・・・・・・・・・6

4. 使用料一覧・・・・・・・・・・7

5. 福岡県視聴覚ライブラリー・・8

組織・機構・職員一覧・・・9

平成22年度事業・・・・・・10

平成21年度実績

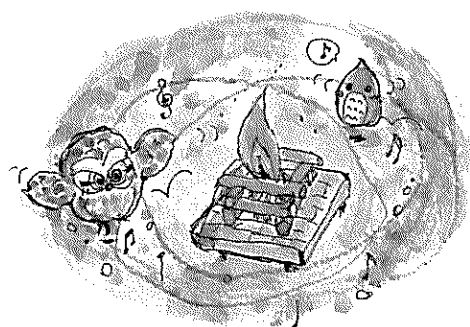
1. 事業・・・・・・・・・・・・・12

2. 学習相談状況・・・・・・15

3. 家庭教育相談・・・・・・16

4. 施設の利用状況・・・・・・18

野外施設配置図・・・・・・20



表紙及び左のイラストは、当センター指導員三根弘子の作品です。



所章

県立社会教育総合センターが、本県の社会教育を総合的に推進する施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。



教育力向上福岡県民運動 展開中!

このマークは福岡県立社会教育総合センターが推進している教育力向上福岡県民運動のシンボルマークです。



沿革

昭和53年12月4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議
昭和55年 8月8日	建設場所を篠栗町に決定
昭和57年 1月11日	造成工事に着工
11月19日	建築工事に着工
昭和58年12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)公布
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室を社会教育課内に設置
〃	研修団体の利用申込みの受付開始
3月1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第1号)公布
〃	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第3号)公布
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第9号)公布
4月1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(昭和58年福岡県条例第23号)により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家を設置
〃	初代所長に安部徹(県教育庁教育次長兼任)が就任
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局のセンター内への移転に伴い、福岡県視聴覚ライブラリーを同センターに開設
8月20日	所章(シンボルマーク)決定
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家落成式
昭和60年 3月9日	野外活動施設(野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋)完成
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則(昭和60年福岡県教育委員会規則第7号)公布
昭和61年 4月1日	第2代所長に加来宣幸が就任
12月20日	上山窯完成
昭和63年 4月1日	第3代所長に山口春禮が就任
平成元年 4月1日	第4代所長に濱地甫伯が就任
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任
7月	施設ボランティア「若杉の会」発足
平成4年 4月1日	第6代所長に窪田康徳が就任
7月24日	利用者100万人突破
12月24日	キャンプ炊飯場新設
平成5年 4月1日	第7代所長に松崎輝生が就任
平成6年 4月1日	第8代所長に大神俊明が就任
10月16日	あじさい小屋完成
平成8年 4月1日	第9代所長に森本精造が就任
9月1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更
平成10年 5月	ホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク」運用開始
7月14日	レストランをハイキング方式に変更するとともにハン工房を設置
平成11年 2月12日	炭焼窯完成
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみ発行
5月8日	学習ボランティア「若杉の会」10周年記念交流会開催
平成12年 3月31日	山道等災害復旧工事完了(平成11年6月29日集中豪雨による災害)
4月1日	第10代所長に瓜生浩平が就任
平成13年 2月	ハソコンルーム設置
4月1日	第11代所長に安野義勝が就任
11月18日	利用者200万人突破
平成14年 4月1日	第12代所長に重松孝士が就任
平成15年 3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により山林整備
11月14日	創立20周年記念行事(式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル)実施
平成16年 3月31日	あじさい炊飯場完成
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと交流協定締結
平成17年 4月1日	第13代所長に菊川律子が就任
10月1日	ホームページ「ふくおか子育てハーク」運用開始
平成19年 4月1日	第14代所長に角伸幸が就任
平成22年 3月	緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により野外活動エリア整備
3月19日	遊歩道等災害復旧工事完了(平成21年7月24日豪雨による災害)

施設概要

1 建築概要

敷地面積	201,750m ²
建築面積	5,838m ²
建物延面積	12,492m ²
建築構造	鉄筋コンクリート造
建築工事期間	起工 昭和57年11月19日 竣工 昭和59年3月31日
総工事費	4,321,457,000円

1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P1階(塔屋)	60m ²

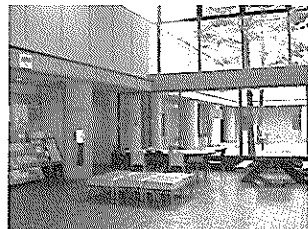
2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2～4階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	
駐車場			80台		第1・第2駐車場



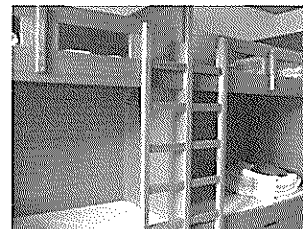
センター全体



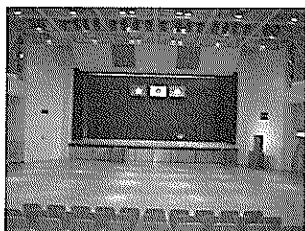
ロビー



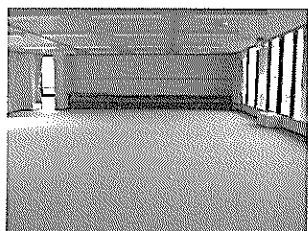
レストラン「そよかぜ」



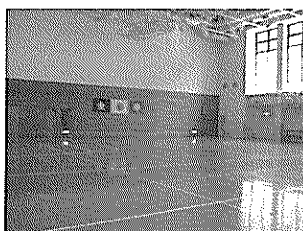
宿泊室(2F)



講堂



3A談話室

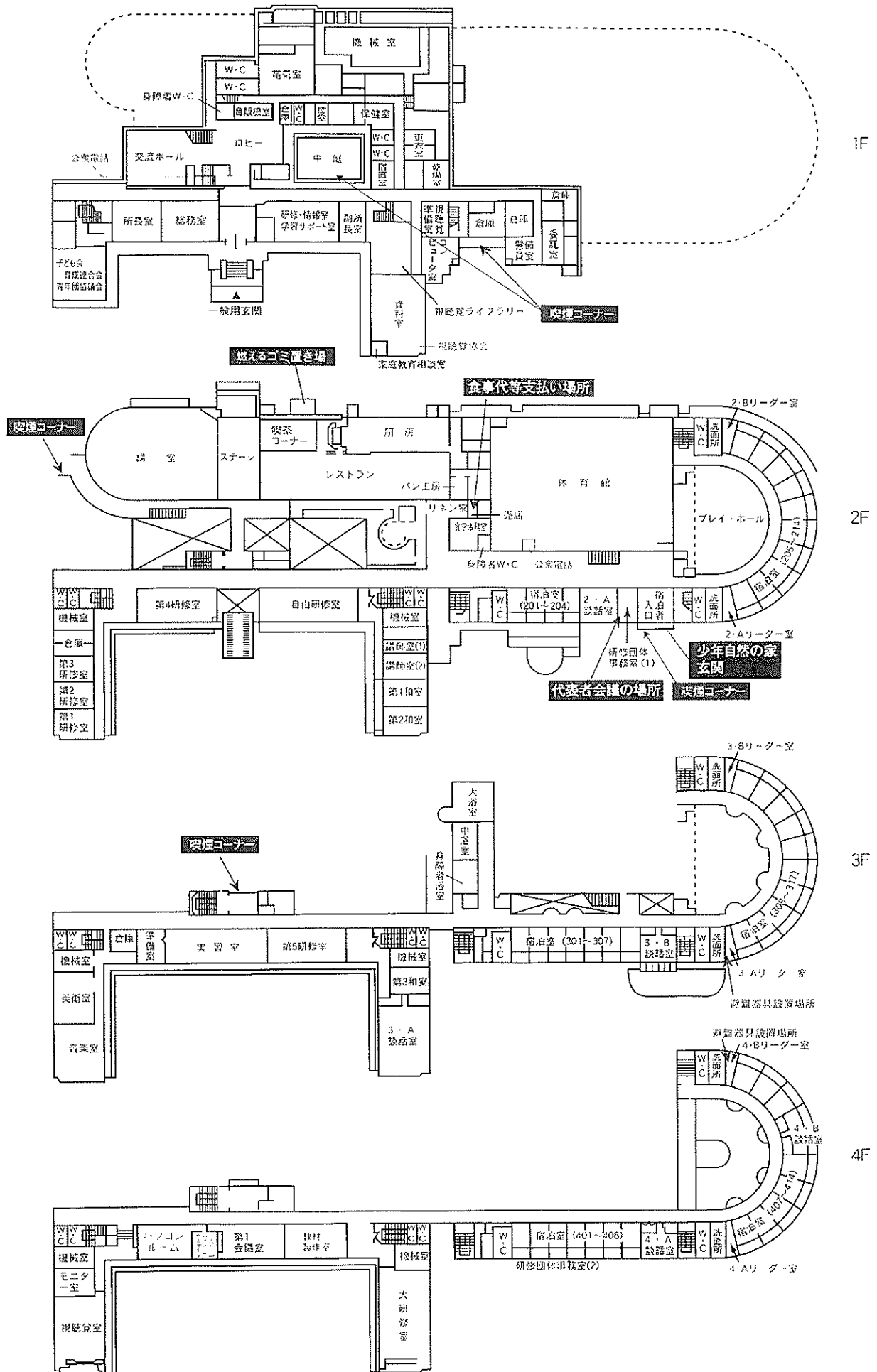


体育館



プレイホール

② 施設平面図



③ 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
1階	資 料 室		社会教育関係等の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ー ル		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット ピアノ、ビデオ
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所長室・副所長室・事務室		所の管理運営	
	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材、DVD
2階	講 堂	500	大会、研修室、講演会、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ
	レ ス ト ラ ン	238	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	黒板、机、移動式モニター、スクリーン
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和 室（第1・第2）	45	研修室（16畳・20畳）	座テーブル
	体 育 館		バレー2面、バドミントン3面、バスケットボール1面（練習2面）、フリーテニス（3面）	各種ネット、柔道畳
	プ レ イ ホ ー ル		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、アコーディオン、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	黒板、机
	和 室（第3）	12	研修、茶道、華道	座テーブル、茶道道具
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修（スロープ式研修室） 講義、研修	16ミリ映写機、ビデオ ステレオ、モニターテレビ
	バ ソ コ ン ル ーム	24	講義、研修	黒板、机
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	教 材 製 作 室	28	講義、研修	黒板、机
	大 研 修 室	120	講義、研修	ビデオ、16ミリ映写機、 モニターテレビ、スクリーン
野外施設	グ ラ ウ ンド		ソフトボール、サッカー 等	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	あじさい炊飯場	100	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	
	玄 関 前 交 流 広 場		交流の場	
	りんどう小屋	20	交流の場	荒天避難所
	た け の こ 広 場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あ じ さ い 小 屋	20	工作	
	あ じ さ い 広 場	100	工作、キャンプファイヤー	テーブル
	キャンプサイト	50	テント泊、野外炊飯	かまど
	炭焼き・パン焼き窯		竹炭作り、パン・ピザ作り	窯

3 利 用 案 内 (全員)

当センターは、広く県民の社会教育を推進する教育施設であり、いつでも、だれでも利用できる体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談	学習機会や講師情報、事例の紹介など様々な相談に応じます。(休所日を除く) TEL 092-947-3512	来所及び電話による相談を受け付けています。
	家庭教育相談「親・おや電話」及びメール相談	保護者等を対象に子育て・家庭教育全般の相談に応じます。 TEL・FAX 092-947-3515 月曜日～土曜日 9:00～17:00 (ただし、センターの休所日、第2月曜日、第4土曜日及び祝日・年末年始を除く) ※17:00～9:00は留守番電話・FAXにて受付 HP「ふくおか子育てパーク」において、メールによる相談も受け付けています。 メール:soudan@kosodate.pref.fukuoka.jp	専門の相談員を配置しています。
図 書 資 料		資料室・ロビーの資料が閲覧・貸出しできます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。 電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間は7日以内、1回の貸し出しは5本以内とします。 毎週月・木曜日発送。送料往復無料です。 受付は休所日・日曜日・祝日を除く毎日9:00～16:30 TEL 092-947-3514	
研 修		主催事業の実施と、学校やグループ団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば、だれでも利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研修もできます。 原則利用開始日の6か月前の月始めから2か月前までに申し込んでください。 事前に電話でご相談ください。 TEL 092-947-3511	ただし、全国規模の大会や研究集会、学校の教育計画として行う研修などで、特に必要があると認めた場合は1年前から申し込みを受け付けます。
見 学 ・ 視 察	団 体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでください。 TEL 092-947-3511	
	個 人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

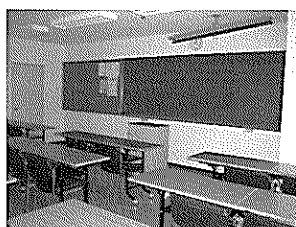
その他、食費は、朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食 660円(小620円・幼330円)です。宿泊研修の場合は、シーツのクリーニング代120円が必要です。

※()内の小は小学生料金、幼は幼児(4歳以上就学前)料金です。

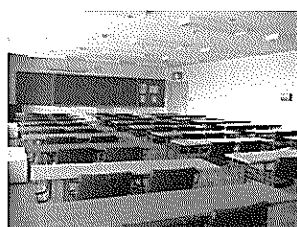
研修室使用料一覧表

	利用時間 ↓ 研修室	9:00 ↓ 12:00	13:00 ↓ 17:00	19:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 17:00	13:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 21:00
2 F	第1研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第3研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第4研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第1和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3 F	音楽室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美術室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4 F	大研修室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視聴覚室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿泊室	1人1泊につき 1,180円					

※研修で必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。



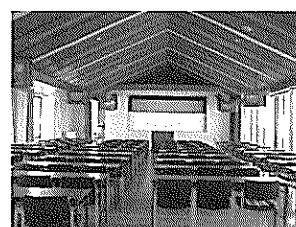
第1研修室



第4研修室



音楽室



大研修室

5 福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出を行っています。

16ミリフィルム	1,442本
ビデオ	2,487本
DVD	249本
CD-ROM	28本
スライド	20本
合計	4,226本

領域の内訳

学 校 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	スライド	学 校 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	スライド
国 語	25	89	46	0	0	教養・情操	268	620	57	4	7
社 会	84	290	52	1	0	健康・体力	69	120	22	0	0
算数・数学	6	4	0	0	0	家庭生活	64	107	20	0	1
理 科	120	189	7	7	6	家庭教育	123	312	13	3	0
生 活 科	7	247	36	2	0	地域社会生活	200	349	62	5	11
音 楽	5	13	0	0	0	人権・同和	236	171	37	1	0
図工・美術	16	20	1	1	0	国民生活	38	157	69	2	2
技術・家庭	8	25	8	2	0	国際性	17	66	5	0	0
保健・体育	42	176	29	1	0	職業生活一般	9	27	6	0	0
道 徳	319	319	142	3	0	職業の知識・技術	2	95	13	0	0
特 別 活 動	323	842	220	20	0	学習者の特性	53	70	5	3	0
						学習援助の方法	56	134	22	11	7
						社会教育施設	18	9	1	0	0
						一般映画	92	115	12	0	0
						自作県コンクール作品	0	75	0	0	0
						ビデオ教材センター作品	0	13	0	0	0
						アニメーション作品	約212	約237	約35	約3	0

(平成22年4月1日現在)

※福岡県視聴覚教育協会所有の教材含む。

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用ができるためです。

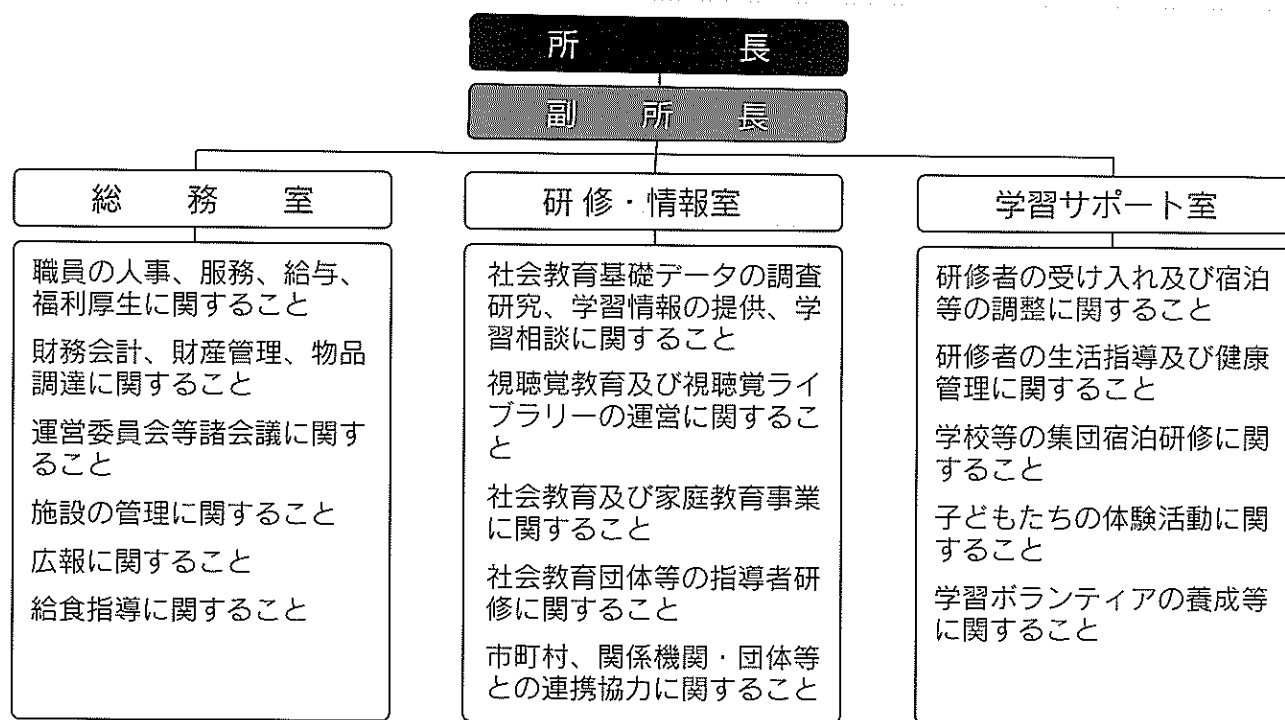
16ミリフィルム、ビデオ、DVD等

送料往復無料です

幅広い世代にご利用いただける教材がそろっています。



組織・機構・職員一覧



所 長 角 伸 幸
副所長 黒 田 修 三

室名	室長	室				員			
総務室	松井 安彦	企画主任	主事	古賀健治	技術嘱託	原	あゆみ		
研修・情報室	鶴 我 哲 夫	主任	社会教育主事	益 田 茂	指 導 員	黒葛原 志保子			
		社会教育主事	中 島 清香	指 導 員	三 根 弘 子	井 口 弥 江			
		社会教育主事	島 居 隆 浩	相 談 員	井 口 紀美代	山 口 禮 子			
		事務主査	井 上 健 雄	相 談 員	鉢 嶺 子	百 田 ゆう子			
		社会教育主事	野見山 和 久彦	相 談 員					
学習サポート室	山 本 隆 治	企画主査	池 上 利之靖	指 導 員	福 原 和 香				
		社会教育主事	大 槻 高 美	指 導 員	渡 部 佑	関 野 純			
		社会教育主事	中 野 久 政	指 導 員	河 野 純	長谷川 加 奈			
		社会教育主事	村 井 紀 美	指 導 員					
		指導員	江 嶋 裕 司	指 導 員					

視聴覚教育協会	臨時職員 藤 麻 湖
---------	------------



平成22年度 事業 ～こんなことをします～

1 県民の学習活動支援

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解を深める

対象 施設での活動に関心のある方
実施 11/13～14

子どもの体験活動支援

■ワクドキウインター楽習塾

冬期の自然体験活動を通して「生きる力」や「心の豊かさ」を育み、異年齢の参加者が共に学び協働していく意識を高める

対象 小学生（全学年）
実施 2/5～6

2 子どもの育成支援

子どもの体験活動支援

■きらめき未来塾inささぐり【4回シリーズ】

職業的自立をめざす知的障害のある生徒を対象に、就労体験や交流プログラム等多様な体験活動を通して個々の進路実現に繋ぐ力を養う

また、保護者を対象に職業的自立に向けた支援の在り方等についての学習機会や情報交換の場を提供する

対象 職業的自立をめざす、特別支援学校の高等部（知的障害）の生徒とその保護者
実施 ① 6/5～6 ② 8/25～29
③ 10/9～10 ④ 12/4～5

子どもの体験活動支援

■ものづくり体験事業

自然の材料を使ったものや季節の行事にちなんだものを作ることで、作る喜びや達成感を味わわせる

対象 ものづくりに興味のある方
実施 12/19（1日2回実施）

子どもの体験活動支援

■レッツ・ゴー！5&5【5回シリーズ】

様々な体験活動を通して、5歳児と4・5年生に困難を乗り越える力や人と関わる力を育成する

対象 幼稚園、保育園等の5歳児と小学校4・5年生
実施 ① 6/26 ② 8/7～8 ③ 9/10～12
④ 11/27 ⑤ 1/29～30

子どもの体験活動支援

■ワクドキおやし塾

父と子でものづくりや自然体験等の活動を通して、親子のふれあいを深め、父親の子育て参画を促進する

対象 小学生と父親（母親等も可）
実施 10/30～31

家庭教育支援

■ふくおか子育て支援フォーラム

子育て関係者の学習・交流を通して子育てグループの企画力を育成するとともに、ネットワークを構築する

対象 子育て支援関係者等
実施 10/23

3 社会教育関係者の養成支援

行政職員等研修

■新任社会教育関係職員等研修会【2回】

社会教育の推進に必要な基礎的・基本的な知識等について学習するとともに、関係職員間のネットワークを構築する。

対象 社会教育関係職員等
実施 ① 5/24～25 ② 6/23

行政職員等研修

■社会教育関係職員等研修会【3回】

社会教育の推進に必要な知識及び近年の社会教育の動向や実践についての研修を通して関係職員の資質の向上を図る。

対象 社会教育関係職員等
実施 ① 7月中旬 ② 9月下旬 ③ 1月下旬

行政職員等研修

■地域を学び、地域を語る行政研修会

これからの社会教育行政の方向性について意見交流を深めることにより、県内生涯学習・社会教育行政の活性化を図る。

対象 社会教育関係職員、社会教育委員等
実施 6/30

行政職員等研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

市町村の新任社会教育委員を対象に、社会教育委員の役割や社会教育の課題等について研修を行う。

対象 新任社会教育委員等
実施 7/5

技能・技法研修

■16mm映写機操作技術講習【2回】

16mm映写機操作技術を習得する

対象 市町村、学校、施設等職員

実施 ① 8/6 ② 1/19

技能・技法研修

■相談業務に係る職員のためのカウンセリング講座【4回】

多様化する相談ニーズに対応するためのカウンセリング技法を習得する

対象 相談業務に携わる人

実施 ①10/7 ②10/21 ③11/2 ④11/15

技能・技法研修

■事業の企画力アップ研修会

様々な講座やイベントを開催する上での企画のあり方についての研修を通して関係職員等の資質向上を図る

対象 社会教育関係職員等

実施 2/23

課題別研修

■地域ぐるみ学校応援セミナー

地域ぐるみで子どもを育む活動を推進するために、学校と地域との連携・協力のあり方について関係者の理解を深める

対象 学校関係職員、教育行政関係職員、学校運営協力者等

実施 7月下旬、2月上旬

課題別研修

■著作権セミナー

著作権全般に関する基礎的な知識を深め、著作権制度についての意識の向上を図る

対象 社会教育関係職員、学校関係職員、その他関心がある方

実施 8月下旬

課題別研修

■家庭教育支援行政担当者等セミナー【3回】

子育て・家庭教育の支援者としての資質向上を図るとともに、関係者のネットワークを構築する

対象 行政職員等

実施 ①9月中旬 ②10/23 ③11月上旬

交流研修

■中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会

社会教育、生涯学習関係者の実践事例の発表・協議等をとおり、相互交流を図る

対象 生涯学習、社会教育関係者等

実施 5/15～16

一年を通して行っている事業

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による関連情報の提供

社会教育に関する先進事例や講師情報、調査等様々な情報を提供するとともに、当センター及び県内関係施設について紹介する

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■図書資料の収集・整備・提供

国や県、市町村、民間団体の発行する図書資料等を収集、整理、提供する

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出し

生涯学習・社会教育、学校教育等に関する教材の収集と貸出しを行う(送料は往復無料)

対象 民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■学習相談の実施

講師に関する情報提供、学習機会や事例の紹介、視聴覚教材の案内など様々な学習相談に応じる

対象 県民、行政関係者等

調査研究

■社会教育に関する調査研究

生涯学習・社会教育に関するデータ収集を行い、情報を提供する

対象 都道府県、市町村

調査研究

■幼児(3・4・5歳児)をもつ保護者の子育てに関する調査

就学前児の保護者を対象に家庭教育に関する意識調査を行う

対象 就学前児の保護者

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■社会教育応援隊

社会教育を推進するため、市町村や民間団体等の要望に応じた支援を行う

- ① 研修会や事業等への職員派遣
- ② 市町村等の課題解決に向けた相談の実施

対象 市町村、各団体等

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ボランティアスタッフ養成事業

各主催事業や受入事業において、ボランティアスタッフを養成する

対象 学習ボランティア、ボランティア活動に関心がある方(高校生・大学生を含む)

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより会員の研鑽と会の充実を図る

対象 若杉の会会員

家庭教育支援

■家庭教育相談電話「親・おや電話」

保護者等を対象に家庭教育全般の相談に応じる(メールでの相談も受け付ける)

対象 保護者等

家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による子育て関連情報の提供

パソコンや携帯電話を活用した子育てに関する情報の収集・提供・相談により、きめ細かな家庭教育支援を行う

対象 県民、行政関係者等



平成21年度 実績 ～こんなことをしました～

事業

① 県民の学習活動支援

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解を深める

対象 施設での活動に
関心のある方

実施 11/13～14 1,000名



成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ボランティア交流事業

福岡県内の社会教育施設ボランティアが一堂に会し、新しい活動の創造と魅力あるボランティアの在り方等について研修する

対象 県内の社会教育施設の学習ボランティア、ボランティア活動に関心のある方（高校生、大学生を含む）、行政職員等

実施 3/13～14 35名



② 子どもの育成支援

子どもの体験活動支援

■きらめき未来塾inささぐり【4回シリーズ】

職業的自立をめざす知的障害のある生徒を対象に、多様な自然体験、就労体験等を提供し、「生きる力」や個々の進路実現に繋ぐ力を養う

また、保護者を対象に職業的自立に向けた支援の在り方等について学習機会を提供する

対象 職業的自立をめざす、特別支援学校(養護学校)の高等部の生徒とその保護者

実施 【春】 6/6～7 35名
【夏】 8/18～21 22名
【秋】 11/20～22 21名
【冬】 12/12～13 31名



子どもの体験活動支援

■レッツ・ゴー！5&5【6回シリーズ】

5歳児と小学5年生が、年間を通じた体験活動や学習活動を共に経験する中で、社会のルールを受け入れる力や人と関わる力を培い、幼児の小学校生活への移行をスムーズにするともに、新入生を迎える上級生としての自覚と自信を育成する

対象 幼稚園、保育園の5歳(年長)児と小学5年生

実施 ① 6/20 105名

② 7/25

(中国・九州北部豪雨のため中止)

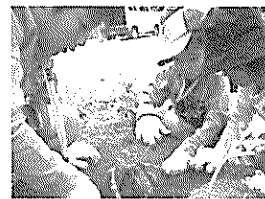
③ 9/12～13 61名

④ 10/24 57名

⑤ 12/19 60名

1/23(特別企画) 38名

⑥ 3/6～7 119名



子どもの体験活動支援

■ワクドキ「おやじ塾」【2回実施】

父と子でのものづくりや自然体験、環境保全等の活動を通して、ふれあいを深め、父親の子育て参画を促進する

対象 小学生と父親
(母親也可)

実施 ① 8/1～2 61名

② 10/10～11 30名



子どもの体験活動支援

■ものづくり体験事業

ミニ門松・しめ飾りづくりなど季節の行事にちなんだ体験活動により、昔ながらの日本文化のすばらしさを再発見する

対象 ものづくりを
希望される方

実施 12/12 128名



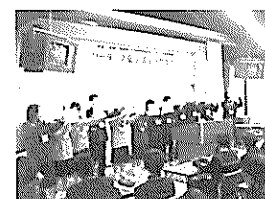
子どもの体験活動支援

■リーダーズ養成講座inささぐり

県内の中学・高校生を対象に、相互に交流しながらリーダーとしての心構えやワークショップなどの手法を学ぶ機会を提供することにより、将来地域を担うリーダーとしての資質や能力の育成を図る

対象 中学生及び高校生

実施 12/25 112名

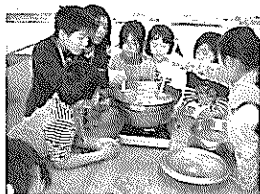


子どもの体験活動支援

■ワクドキウインター楽習塾

冬期の自然体験活動を通して「生きる力」や「心の豊かさ」を育み、共に学び協働していく意識を高める

対象 小学生及び中学生
実施 1/30～31 71名



子どもの体験活動支援

■ニューイヤーキッズフェスティバル

子どもたちに生のオペラの鑑賞機会を提供するとともに、映画会やバルーンアート等の体験活動をととして、情操や教養を養う

対象 近隣地域の子ども及び
その保護者
実施 1/16 493名



家庭教育支援

■子育てネットワークinふくおか2009

研修・学習・交流を通して子育てグループ活動の活性化を図るとともに、子どもに体験活動を提供する

対象 子育て支援関係者等
実施 10/17～18
大人 227名
子ども 152名



技能・技法研修

■長期宿泊体験活動How to 講座

長期宿泊体験や通学合宿等の先進事例をもとに、プログラムの企画や指導のノウハウ等を具体的に・体験的に研修し、学校や地域で行われる集団宿泊体験活動を支援する指導者の育成を図る

対象 教職員、
青少年教育関係者等
実施 6/29～30 60名



技能・技法研修

■社会教育関係職員等公開セミナー

様々な講座やイベントを開催する上で、魅力的な企画のあり方や効果的な広報の手法について研修し、資質の向上を図る

対象 社会教育関係職員等
実施 2/23 115名



技能・技法研修

■16mm映写機操作技術講習

共催：県視聴覚教育協会

16mm映写機操作技術を習得する

対象 行政職員、学校関係職員等
実施 ① 8/ 4 8名
② 1/19 4名



③ 社会教育関係者の養成支援

職員等研修

■社会教育関係職員等研修

社会教育の推進に必要な知識や技術・動向及び実践についての研修を行う

対象 新任社会教育関係職員等
実施 ① 5/28～29 66名
② 6/19 77名
③ 8/ 3 36名
④ 11/18 50名

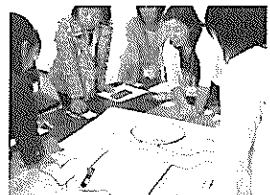


技能・技法研修

■相談業務に係る職員のためのカウンセリング講座

多様化する相談ニーズに対応するためのカウンセリング技法を高める

対象 相談業務に携わっている人
実施 ① 10/ 9 40名
② 10/26 40名
③ 11/12 40名
④ 11/30 40名



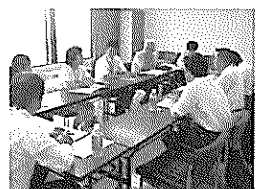
職員等研修

■市町村社会教育委員新任者研修

共催：県社会教育委員連絡協議会

社会教育委員の役割や社会教育の課題について学習する

対象 新任社会教育委員等
実施 7/7 85名



課題別研修

■家庭教育支援者等セミナー

家庭教育支援者としての資質の向上とネットワークの構築を図る

対象 家庭教育支援者、
行政職員等
実施 ① 7/14 51名
② 9/25 60名
③ 11/13 63名



課題別研修

■地域ぐるみ学校応援セミナー

地域ぐるみで子どもを育む活動を推進するため、学校と地域との連携協力のあり方について学ぶ

対象 社会教育関係職員等、
学校関係職員
実施 2/17 104名



課題別研修

■著作権セミナー

共催：県視聴覚教育協会

著作権全般に関する基礎的知識を深め、著作権制度の意識向上を図る

対象 社会教育関係職員、
学校関係職員、
その他関心のある方
実施 3/4 109名



交流研修

■第28回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会

生涯学習・社会教育関係者等の実践事例研究会を開催し、相互の研鑽と交流を図る

対象 生涯学習、社会教育関係者等
実施 5/15～17 434名



一年を通して行った事業

学習情報提供・学習相談

■「ふくおか社会教育ネットワーク」の運用(ホームページ)

インターネットを通して、社会教育に関する様々な情報の提供、当センター及び県内関係施設の紹介を行う

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■図書資料の収集・整備・提供

国や県、市町村の発行する図書資料等の収集、整備、提供等を行う

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出し

社会教育、学校教育、家庭教育等に関する教材の収集と貸出しを行う(送料 往復無料)

対象 民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■学習相談の実施

学習相談体制を整備し、学習機会や講師情報、事例など様々な学習相談に応じる

対象 県民、行政関係者等

調査研究

■社会教育基礎データ調査研究

社会教育や家庭教育等に関する調査、データの収集・提供等を行う

対象 都道府県、市町村等

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■社会教育応援隊

研修会や事業企画等の支援に職員を派遣する市町村等が抱える課題解決に向けた相談を行なう

対象 市町村、各団体等

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより会員の研鑽と会の充実を図る

対象 若杉の会会員

家庭教育支援

■家庭教育相談電話「親・おや電話」

保護者等を対象に家庭教育全般の相談に応じる(メールでの相談も受け付ける)

対象 保護者等

家庭教育支援

■「ふくおか子育てパーク」の運用(ホームページ)

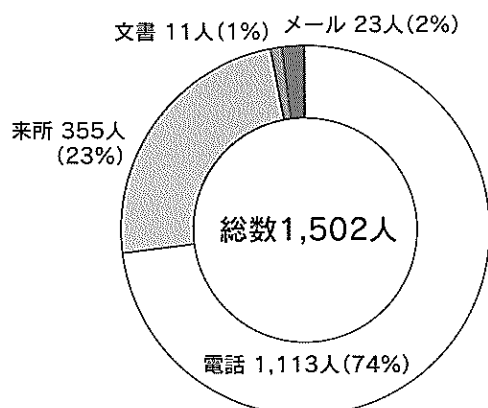
パソコンや携帯電話を活用した子育てに関する情報の収集、提供、相談を行う

対象 県民、行政関係者等

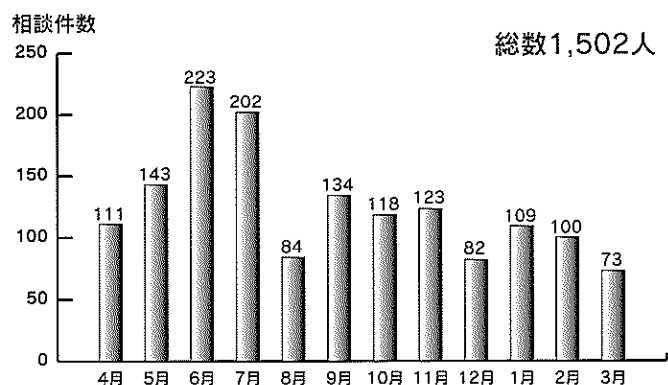


2 学習相談状況

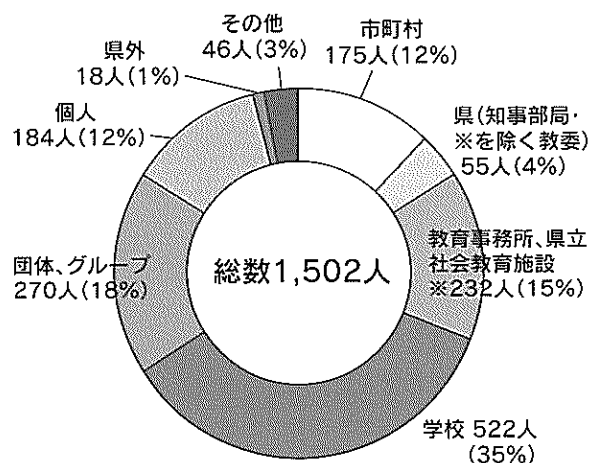
■相談方法別内訳



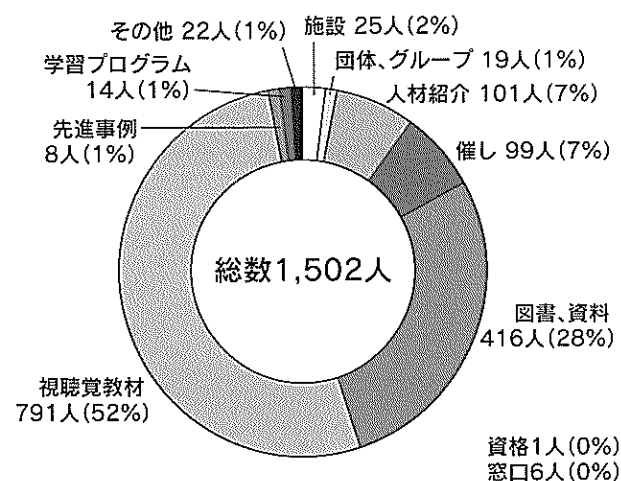
■月別相談件数



■相談者別内訳



■相談分野別内訳

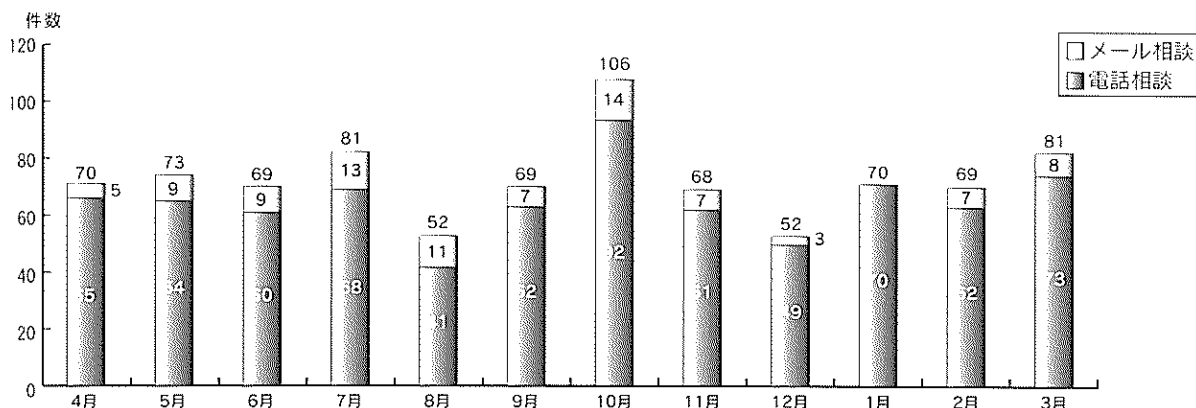


■相談者別の相談分野

相談者	相談分野	施設	団体	人材	催し	図書・資料	視聴覚教材	資格	窓口紹介	先進事例	学習プログラム	その他	年度累計
市町村(首長部局・教委等)		0	1	36	1	15	109	0	0	4	0	9	175
県(知事部局・教育事務所・県立社会教育施設を除く教委)		0	2	4	1	4	44	0	0	0	0	0	55
教育事務所・県立社会教育施設		0	0	16	1	49	161	0	0	3	0	2	232
学校(幼・小・中・高・大・特)		4	2	17	5	11	473	0	2	0	4	4	522
団体・グループ		9	4	13	0	2	234	0	1	0	5	2	270
個人		11	10	5	88	5	56	1	2	0	5	1	184
県外		1	0	5	3	4	3	0	0	1	0	1	18
その他		0	0	5	0	28	9	0	1	0	0	3	46
年度累計		25	19	101	99	118	1,089	1	6	8	14	22	1,502

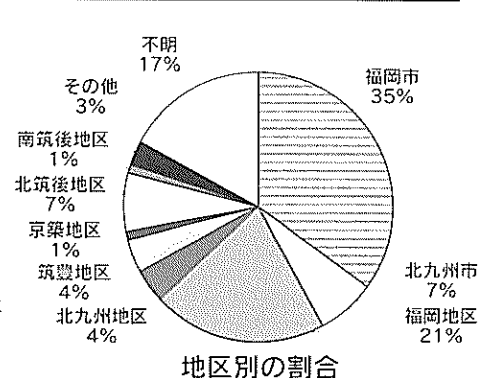
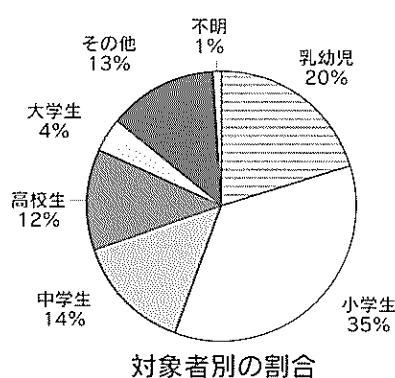
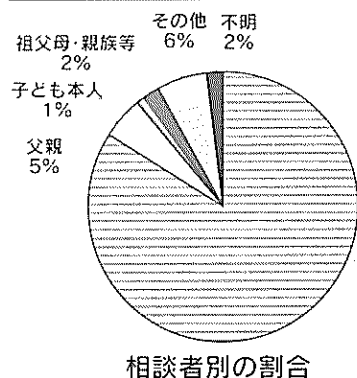
家庭教育相談「親・おや電話」(メール相談も含む)

① 月別相談件数



② 相談者・対象者・地区別相談件数

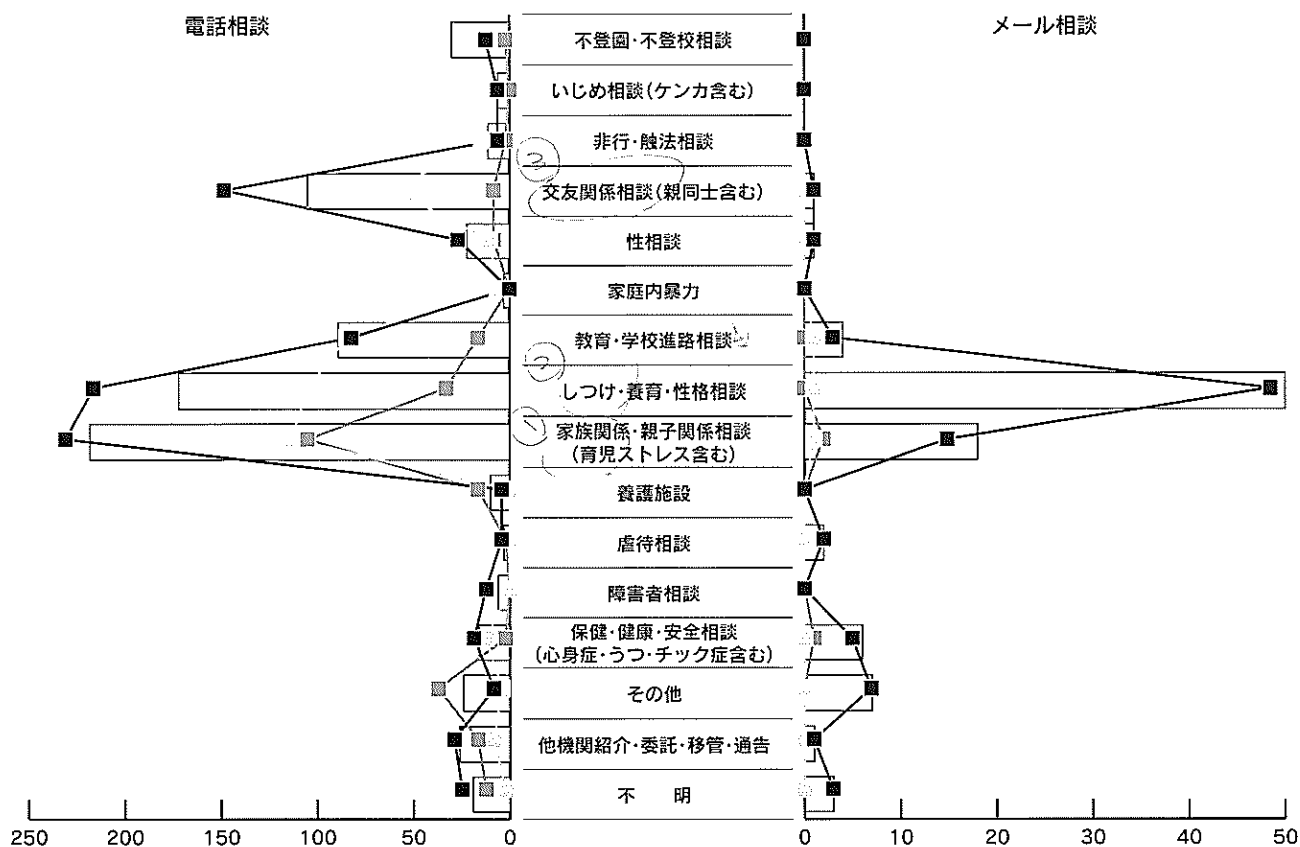
相談件数			電話相談	メール相談	合計	割合(%)
相談者			767	93	860	100%
相談者	母	親	650	72	722	64%
	父	親	41	3	44	5%
	子ども	本人	8	0	8	1%
	祖父母・親族等		20	0	20	2%
	他機関等		3	0	3	0%
	その他		44	5	49	6%
	不明		1	13	14	2%
小計			767	93	860	100%
対象者	乳幼児		105	69	174	20%
	小学生		290	9	299	35%
	中学生		119	5	124	14%
	高校生		106	0	106	12%
	大学生		37	0	37	4%
	その他		110	5	115	13%
	不明		0	5	5	1%
小計			767	93	860	100%
地区	福岡市		281	16	297	35%
	北九州市		60	3	63	7%
	福岡地区		170	12	182	21%
	北九州地区		31	0	31	4%
	筑豊地区		32	2	34	4%
	京築地区		8	0	8	1%
	北筑後地区		58	1	59	7%
	南筑後地区		14	1	15	1%
	その他		16	6	22	3%
	不明		97	52	149	17%
小計			767	93	860	100%



② 内容別相談件数

相談内容	電話相談					メール相談				
	幼・小	中・高	大学他	合計	割合	幼・小	中・高	大学他	合計	割合
不登園・不登校相談	6	23	1	30	3.9%	0	0	0	0	0.0%
いじめ相談(ケンカ含む)	3	3	0	6	0.8%	0	0	0	0	0.0%
非行・触法相談	3	7	1	11	1.4%	0	0	0	0	0.0%
交友関係相談(親同士含む)	72	29	4	105	13.7%	1	0	0	1	1.1%
性相談	13	5	4	22	2.9%	1	0	0	1	1.1%
家庭内暴力	0	3	0	3	0.4%	0	0	0	0	0.0%
教育・学校進路相談	40	41	8	89	11.6%	3	1	0	4	4.3%
しつけ・養育・性格相談	105	51	16	172	22.4%	49	1	0	50	53.8%
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)	112	55	51	218	28.4%	15	1	2	18	19.4%
養護施設	2	0	8	10	1.3%	0	0	0	0	0.0%
虐待相談	2	0	1	3	0.4%	2	0	0	2	2.2%
障害者相談	6	0	0	6	0.8%	0	0	0	0	0.0%
保健・健康・安全相談 (心身症・うつ・チック症含む)	9	6	1	16	2.1%	5	0	1	6	6.5%
その他	4	2	18	24	3.1%	7	0	0	7	7.5%
他機関紹介・委託・移管・通告	14	4	8	26	3.4%	1	0	0	1	1.1%
不 明	12	1	6	19	2.5%	3	0	0	3	3.2%
小 計	403	230	127	760		87	3	3	93	
対象者・内容不明				7	0.9%				0	0.0%
合 計				767	100.0%				93	100.0%

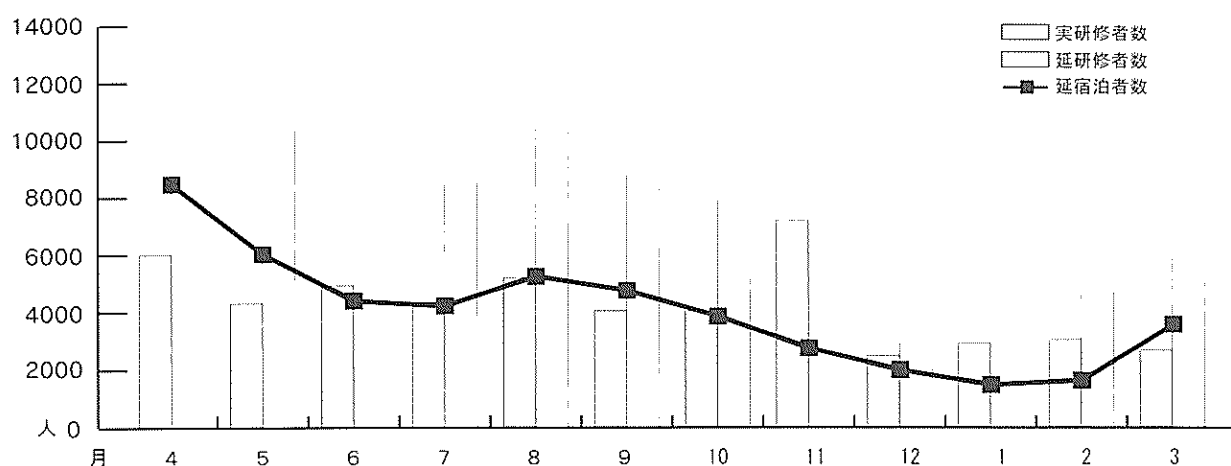
合 計
 幼・小
 中・高
 大学他
 (対象者)



施設の利用状況

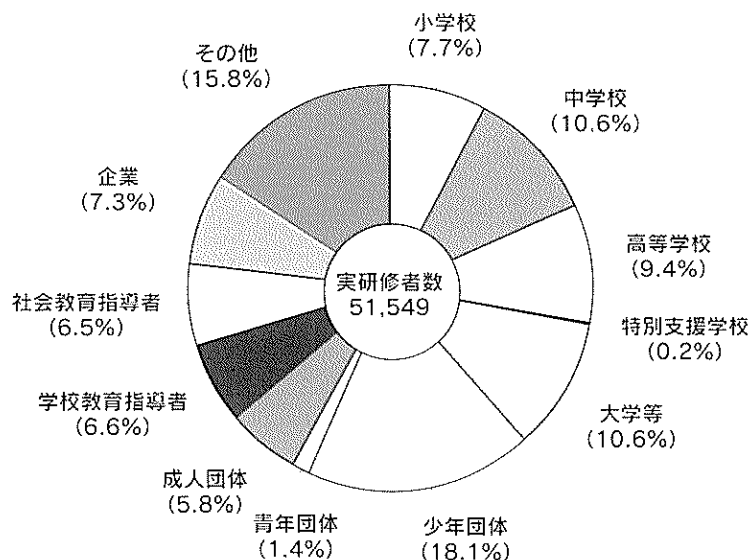
① 月別利用状況

区分		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実 研 修 者 数 A	20	6,868	5,186	5,392	5,308	5,300	4,001	5,401	9,878	2,853	2,141	4,194	3,292	59,814	
	21	6,025	4,338	4,953	4,371	5,227	4,073	4,056	7,241	2,516	2,958	3,076	2,715	51,549	
延 研 修 者 数 B	20	15,992	11,078	10,218	11,904	12,273	7,653	9,818	13,590	4,748	3,712	5,544	6,783	113,313	
	21	14,098	10,380	9,202	8,566	10,492	8,850	7,938	10,012	4,577	4,453	4,730	6,322	99,620	
延 宿 泊 者 数 C	20	9,342	5,842	4,778	6,548	6,838	3,562	4,420	3,726	1,718	1,560	1,995	3,853	54,182	
	21	8,490	6,038	4,418	4,240	5,265	4,777	3,882	2,771	2,013	1,495	1,651	3,607	48,647	
団 体 数 D	20	124	130	132	163	167	120	113	114	64	66	87	108	1,388	
	21	113	124	139	153	180	101	97	96	77	70	85	114	1,349	
開 所 日 数 E	20	30	30	28	30	31	28	30	28	27	23	26	29	340	
	21	30	30	28	30	31	28	29	29	26	26	26	29	342	
宿泊可能日数 F	20	30	28	26	29	31	26	29	26	25	21	24	27	322	
	21	30	29	26	29	31	26	27	28	24	25	24	27	326	
一日平均	研修者数 B/E→G	20	533.1	369.3	364.9	396.8	395.9	273.3	327.3	485.4	175.9	161.4	213.2	233.9	333.3
		21	469.9	346.0	328.6	285.5	338.5	316.1	273.7	345.2	176.0	171.3	181.9	218.0	291.3
	利用率 G/316→H	20	168.7	116.9	115.5	125.6	125.3	86.5	103.6	153.6	55.6	51.1	67.5	74.0	105.5
		21	148.7	109.5	104.0	90.4	107.1	100.0	86.6	109.3	55.7	54.2	57.6	69.0	92.2
	宿泊人数 C/F→I	20	311.4	208.6	183.8	225.8	220.6	137.0	152.4	143.3	68.7	74.3	83.1	142.7	168.3
		21	283.0	208.2	169.9	146.2	169.8	183.7	143.8	99.0	83.9	59.8	68.8	133.6	149.2
	宿泊率 I/316→J	20	98.5	66.0	58.2	71.5	69.8	43.4	48.2	45.4	21.7	23.5	26.3	45.2	53.3
		21	89.6	65.9	53.8	46.3	53.7	58.1	45.5	31.3	26.5	18.9	21.8	42.3	47.2

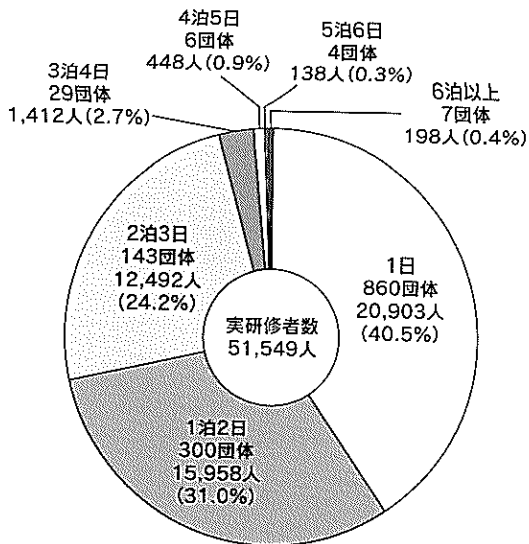


② 団体種別

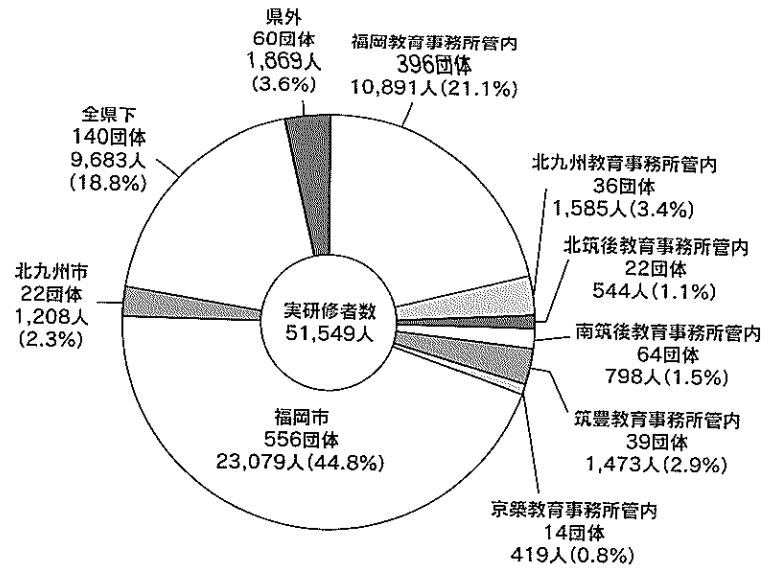
区分	団体数	研修者数	割合
学校利用	小学校	111	3,978 7.7%
	中学校	111	5,473 10.6%
	高等学校	77	4,865 9.4%
	特別支援学校	6	92 0.2%
	大学・短大・高専・専修・各種学校	112	5,461 10.6%
小計	417	19,869	38.5%
少年団体	281	9,327	18.1%
青年団体	27	725	1.4%
成人団体	204	2,986	5.8%
学校教育指導者	63	3,387	6.6%
社会教育指導者	56	3,352	6.5%
企業	168	3,768	7.3%
その他	133	8,135	15.8%
合計	1,349	51,549	100.0%



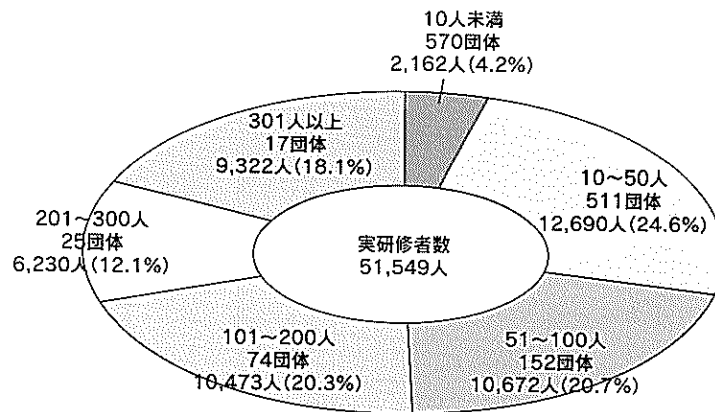
③ 一日研修・宿泊研修



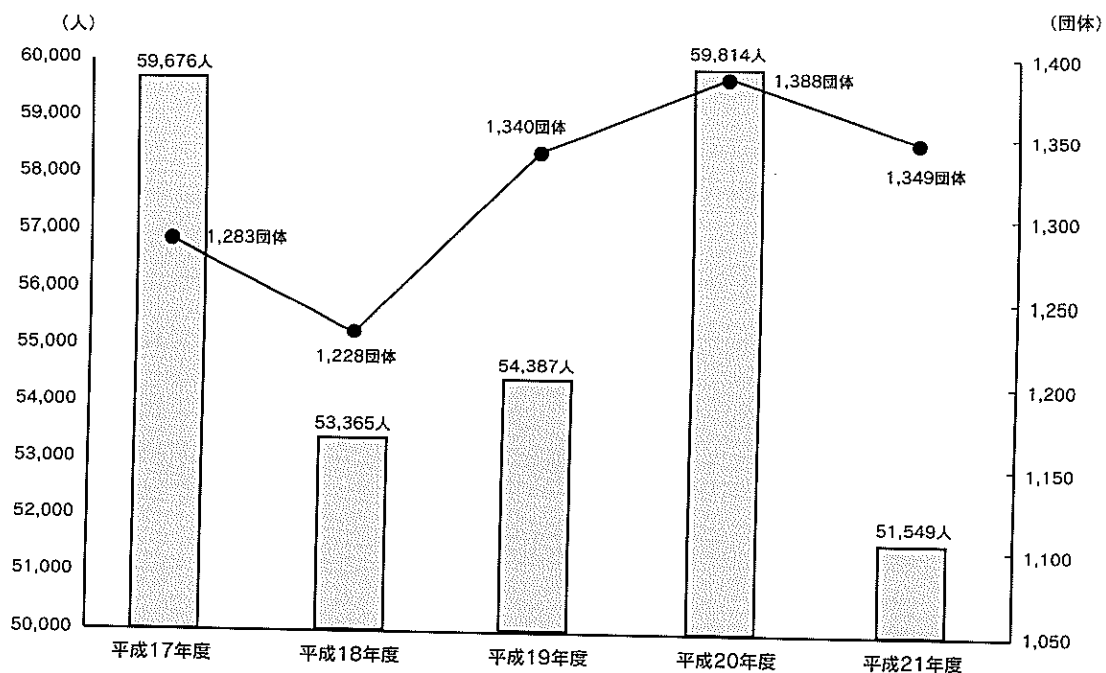
④ 地域別



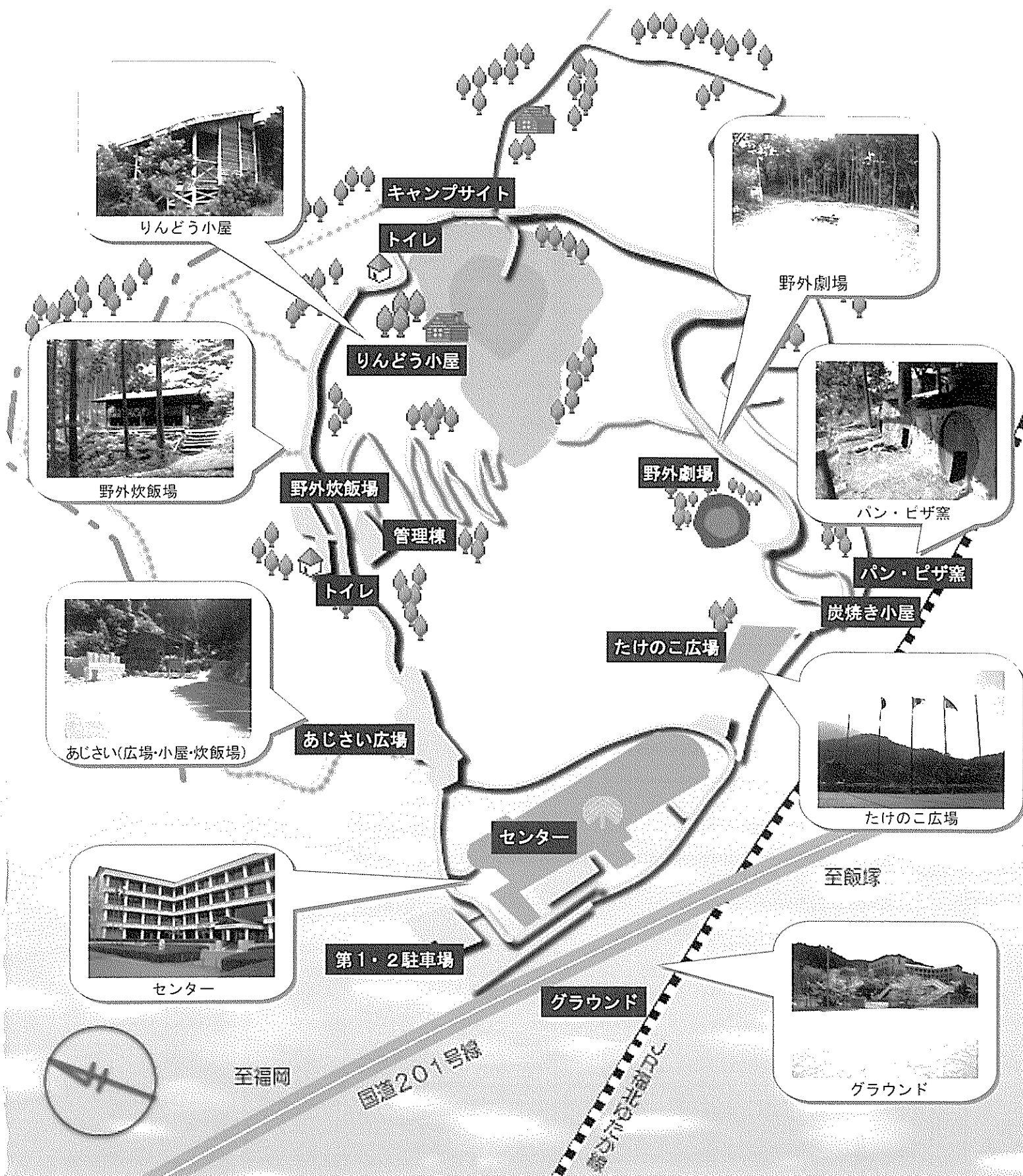
⑤ 団体規模別



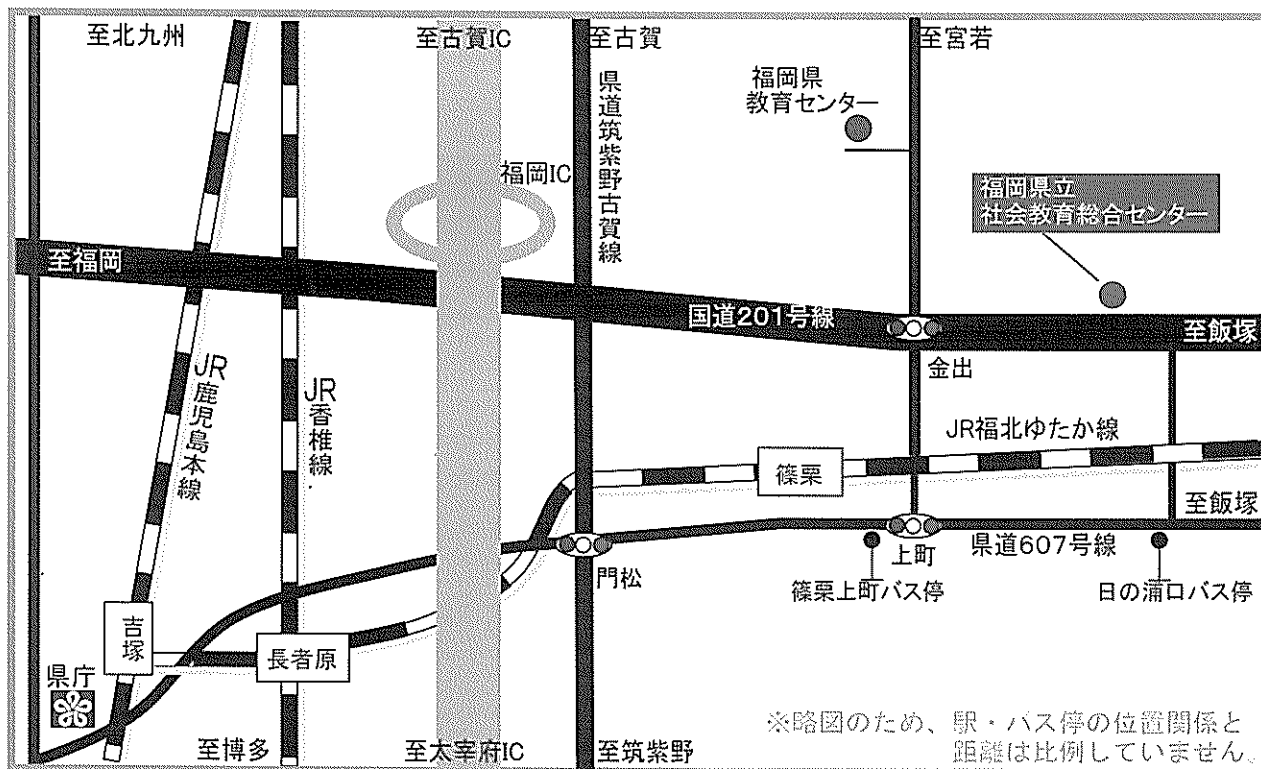
⑥ 年度別利用者及び利用団体数



野外施設配置図

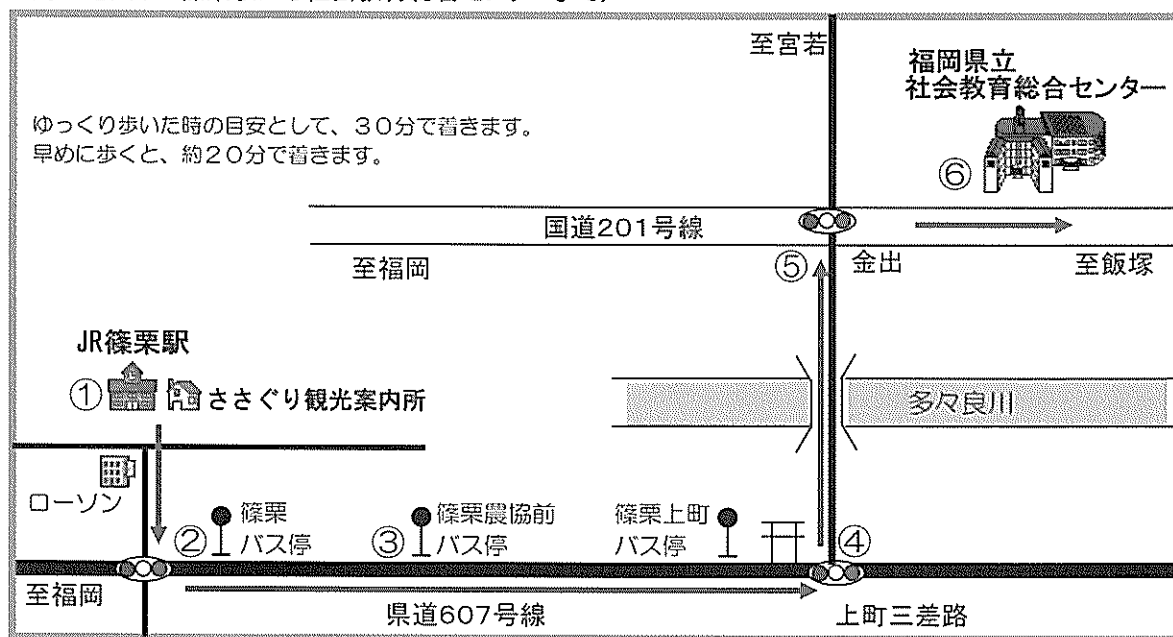


●周辺地図・交通案内



- 自動車でお越しの方は 九州自動車道・福岡 IC から自動車で 10 分
 電車でお越しの方は JR 篠栗駅より徒歩 20 分、タクシーで 5 分
 バスでお越しの方は 西鉄バス 310 番「篠栗上町」より徒歩 10 分、「日の浦口」より徒歩 5 分

周辺地図 (JR篠栗駅から社会教育総合センターまで)



徒歩での時間

- ①JR 篠栗駅 → ②篠栗バス停 1分 → ③篠栗農協前バス停 10分 → ④須賀神社 (上町三差路) 10分 → ⑤金出交差点 4分 → ⑥社会教育総合センター 5分



福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
 TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029
 Mail shakuyoc@pref.fukuoka.lg.jp

●ふくおか社会教育ネットワーク

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

- 家庭教育相談「親・おや電話」 TEL 092-947-3515
- 視聴覚ライブラリー TEL 092-947-3514
- 学習相談 TEL 092-948-0728

●ふくおか子育てパーク

パソコン <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>
 携帯 <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/m>